

地区説明会及びパブリックコメントでの主な意見と回答について

県境～平岩

大所トンネル等で事故が多いので道路改良を行ってほしい。
⇒安全施設を充実させるなど、事故防止に努めます。

平岩～小滝 [検討継続区間]

ルート帯の選定にどのくらいの期間を要するのか。
⇒非常に急峻な山間部で他の区間に比べて費用がかかるため、慎重に検討を行い、なるべく早くルート帯を示したいと考えます。

松糸道路ができるまでの間、洞門等の補修・修繕を滞りなく行ってほしい。
⇒今までどおり、道路の維持管理を行います。

小滝～山本橋 [Aルート帯を提案]

Aルート帯に賛成ですが、現道を利用する場合は、安全に通行できるように改良してほしい。
⇒必要に応じて拡幅・線形改良等を行います。

建設費用を安く抑えられるし、民家の影響も少ないためAルート帯に賛成する。
⇒県もそのように考えます。

Bルート帯では工事費がかさむ上、工期が長期化するため、Aルート帯を支持します。根知へのアクセス確保してほしい。
⇒ルート帯については、県でもそのように考えます。各地区へのアクセスについては、今後検討します。

トンネルでの整備の方が用地買収が少ないと思われるので、Bルート帯を支持する。
⇒県では事業費が安価で事業効果が早期に発現できるためAルート帯とします。なお、今後、なるべく用地買収が少なくなるように道路計画を検討します。

山本橋～糸魚川IC [Bルート帯を提案]

今井橋は架け替えるのか。
⇒架け替える予定です。

糸魚川市の都市計画道路・港南線と接続するのか。
⇒姫川港へのアクセスが向上することから、松糸道路と港南線の接続を前提に検討を行います。

Aルート帯は家屋移転等で工事期間が長くなるため、Bルート帯を希望する。
⇒県もそのように考えます。

工事の進捗性が高いこと、及びこれから事業費がかさむことが予想されることから、少しでも事業費を抑えることができるBルート帯に賛成する。
⇒県もそのように考えます。

現道148号は生活道路であり、今井橋は老朽化し新橋が必要なため、Bルート帯を支持します。
⇒県もそのように考えます。

全体

全線の完成までどのくらいの期間がかかるのか。
⇒現時点では、全線の完成時期はお答えできません。まずは早期の事業化を目指します。

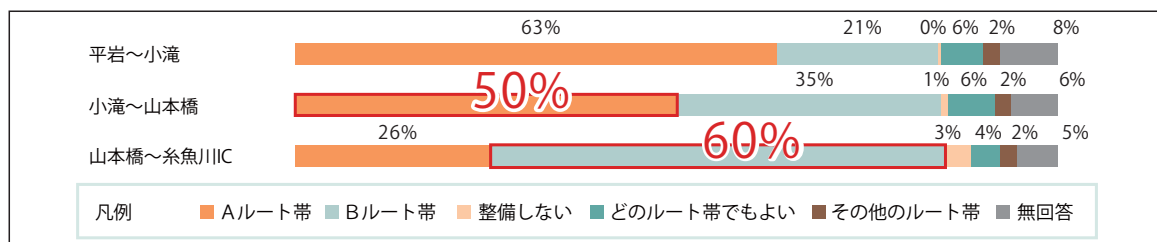
現道利用区間は、平面交差が多くなるが、サービス速度は確保できるのか。
⇒サービス速度を確保するため、ゆずりあい車線の設置などを検討します。

小滝地区、根知地区、大野地区からの乗り入れはどうなるのか。
⇒各地区の道路の利用形態や利便性、及び地域の要望等を踏まえて、検討します。

自然災害に強い道路、安全性が高い道路の確保は地域の悲願であり早期実現をお願いしたい。
⇒地域の要望に応えるためにも、まずは早期事業化を目指します。

【参考】 [H20年度実施] 市民アンケート結果について

最適なルート帯を決定するために、複数のルート帯(案)をH20年度の地区懇談会で提示し、皆様の意見をいただく目的で懇談会でのアンケート及び市民アンケートを実施。合計340件のアンケートを回収しました。



- ❖ アンケートの結果は、平岩～小滝はAルート帯、小滝～山本橋はAルート帯、山本橋～糸魚川ICはBルート帯が望ましいという結果でした。
- ❖ 平岩～小滝は、Aルート帯のトンネル1本の案が冬期間の交通安全等を確保出来る点などが評価されました。
- ❖ 小滝～山本橋は、Aルート帯が一部現道を利用して事業費を節約している点や、根知地域へのアクセス性が良い点などが評価されました。
- ❖ 山本橋～糸魚川ICは、Aルート帯では工事中の渋滞や振動騒音などの環境面に対する心配があること、Bルート帯の事業費がAルート帯よりも少ないことが評価されました。